

平成25年8月4日

緊急度検証基準(F)と比較し、119番トリアージ(C)で過少評価となった事案 (一覧)

No	年齢	性別	C	D	E	F	院内 トリアージ	転帰	C症候	D症候	緊急度検証基準(F)での赤の判定理由			外来 診断	C理由	誤分類の 理由	修正案・メモ	
											要素 1	要素 2	要素 3					
71	80	女性	黄	赤	黄	赤	準緊急	帰宅	16歳以上の 痙攣	重症感	脈拍	E_心拍数:138 <F150であ り、赤の基準 を満たさない			痙攣	呼吸状態が不明の場合(質問6-2でcの解 答)でかつ40才以上なら、「40才以上で、呼 吸状態が不明な状態」であり「赤」と判定さ れるが、プロトコルかプログラムの誤記の ために黄色に分類された模様 →呼吸状態10秒未満との回答より「黄」	プログラ ムの誤記	プログラムを確認し修正する。 →プログラム上、F基準の上限値 設定の誤りの可能性あり。黄に該 当する処置あり、「黄」へ変更す る。
155	74	女性	緑	赤	黄	赤	準緊急	帰宅	固形物誤 飲	循環(成人)	血圧	収縮期血 圧:203≥ 200mmHg			その他	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 症候別プロトコルで「話すことが可能」で あることを確認し、緑	—	緊急度検証基準の収縮期血圧の 上限値は、単純に数字のみではな く、他の条件と組み合わせて使用 してはどうか。
350	92	女性	黄	赤	黄	赤	蘇生	入院 ICU	意識障害	意識(成人)	血圧	収縮期血 圧:45≤ 90mmHg	J(G)CS 100≥ 30	転帰	循環 器系	「呼吸が苦しそう」、「顔色が悪い」、「意識障 害はないが、呼吸苦で話しができない」状態 で、何故か症候別プロトコルでは「意識障 害」を選択。このプロトコルでは黄色と判定 される。	症候の誤 選択	「呼吸困難」を選択すれば、「呼吸 が切迫している状態」で赤Qと分類 される。
426	5	女性	黄	赤	緑	赤	低緊急	帰宅	小児の発 熱	循環(小児)	脈拍	E_心拍数:155 ≥120			その他	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	緊急度検証基準の小児のバイタ ルサイン(脈拍)の基準を検討して はどうか？
669	1	男性	黄	黄		赤	低緊急	入院 一般	小児の 嘔気・嘔吐	発熱(小児)	脈拍	E_心拍数: 160=145~165			感染 症	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	緊急度検証基準の小児のバイタ ルサイン(脈拍)の基準を検討して はどうか？
712	66	女性	黄	赤	緑	赤	準緊急	帰宅	嘔気・嘔吐	発熱(成人)	脈拍	E_心拍数=144 <F150であ り、赤の基準 を満たさない			眼科 耳鼻 科系	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	心拍数上限のプログラムの誤り? →プログラム上、F基準の上限値 設定の誤りの可能性あり。黄に該 当する処置あり、「黄」へ変更す る。
1303	48	男性	黄	赤	黄	赤	緊急	入院 ICU	腹痛	腹痛	転帰	ICU	診断名	腹膜炎	腹膜 炎	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 「臍より上の痛みですか?」/「痛みの場所 が不明瞭」で黄色	—	バイタルサインにはCDEで異常な し。これを赤にすると腹痛はほとん ど赤になってしまう。ただしF基準で は2項目で赤。
1488	61	女性	黄	白	黄	赤	準緊急	帰宅	腹痛	腹痛	血圧	収縮期血圧: 87<90mmHg			急性 胃腸 炎	呼吸、会話には問題ないが、冷や汗をかい ていて、顔色が悪い。「臍より上の痛みです か?」/痛みの場所が不明瞭で黄色になっ ている。プロトコルでは、「顔色の変化の ある状態」であれば赤Qとなるはず →上記理由より「赤Qへ変更」	プログラ ムの誤記	プログラムを確認し修正する。

No	年齢	性別	C	D	E	F	院内 トリアージ	転帰	C症候	D症候	緊急度検証基準(F)での赤の判定理由			外来 診断	C理由	誤分類の 理由	修正案・メモ
											要素 1	要素 2	要素 3				
1589	52	男性	黄	赤	緑	赤	準緊急	帰宅	嘔気・嘔吐	循環(成人)	血圧	収縮期血 圧:206≥ 200mmHg		胆石・ 胆嚢 炎	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	緊急度検証基準の収縮期血圧の 上限値は、単純に数字のみではな く、他の条件と組み合わせて使用 してはどうか。
2238	60	女性	黄	赤	緑	赤	緊急	帰宅	意識障害	意識(成人)	J(G)CS	JCS:200>30 GCS:3<8		神経 系	呼吸、循環、顔色に異常なく、会話で「声 が全く出せない」状態である。 プロトコル上は、「声が出せない」の選択 なら、質問2-1には進まず、「赤Q:意識が清 明でなく、かつ、呼吸・循環状態が正常の状 態」になる。	プログラ ムの誤記	プログラムを確認し修正する。
2394	84	女性	黄	赤		赤	緊急	帰宅	成人の発 熱	循環(成人)	脈拍	E_心拍数=133 <F150であ り、赤の基準 を満たさない		呼吸 器系	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 10_成人の発熱/「患者は歩けますか?」/ 「歩けない」で黄色	—	心拍数上限のプログラムの誤り? →プログラム上、F基準の上限値 設定の誤りの可能性あり。黄に該 当する処置あり、「黄」へ変更す る。
2456	37	男性	黄	赤	緑	赤	低緊急	帰宅	嘔気・嘔吐	循環(成人)	脈拍	E_心拍数=140 <F150であ り、赤の基準 を満たさない		内分 泌・代 謝	呼吸、循環、顔色、会話のデータなし。 12_嘔気嘔吐/「何か、いつもと違う振る舞い がありますか?」/「いつもと違う振る舞いは ない」で黄色	—	心拍数上限のプログラムの誤り? →プログラム上、F基準の上限値 設定の誤りの可能性あり。黄に該 当する処置あり、「黄」へ変更す る。
2902	7	男性	黄	赤	緑	赤	非緊急	帰宅	小児の発 熱	循環(小児)	脈拍	E_心拍数: 118=105~120		消化 器	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	緊急度検証基準の小児のバイタ ルサイン(脈拍)の基準を検討して はどうか?
3187	3	男性	黄	赤	緑	赤		帰宅	小児の発 熱	循環(小児)	脈拍	E_心拍数: 139=125~140		痙攣	呼吸、循環、顔色、会話のデータなし。いつ もと違う振る舞いがなく、血も吐いていない ため黄色	—	緊急度検証基準の小児のバイタ ルサイン(脈拍)の基準を検討して はどうか?
3611	80	女性	黄	白	緑	赤		入院 一般	頭痛	頭痛	血圧	収縮期血圧: 210>200mmHg		神経 系	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 7_頭痛1/言葉ははっきりしており、激しい突 然の頭痛ではなく、しびれや麻痺もなく、い つもと違う振る舞いもないため、黄色	—	緊急度検証基準の収縮期血圧の 上限値は、単純に数字のみではな く、他の条件と組み合わせて使用 してはどうか。
3652	77	女性	黄	白	黄	赤	準緊急	入院 一般	意識障害	しびれ	診断名	脳梗塞		脳梗 塞	呼吸、循環、顔色、会話に異常なく、5_意識 がない_7/「(現在も普通に話ができる状態 の場合)これまで心臓の異常を指摘された ことがありますか?」/「心疾患の既往がな い」で黄色を選択	症候の誤 選択の可 能性	会話に問題がないのに何故、意識 障害を選択したのだろうか。電話を する前に意識レベルが低下したの だろうか?もし痺れが主訴であれ ば、「14_痺れ」のプロトコルの選択 が最適となる。
3752	56	女性	黄	赤	緑	赤	非緊急	入院 一般	成人の発 熱	循環(成人)	脈拍	E_心拍数=120 <F150であ り、赤の基準 を満たさない			呼吸、循環、会話に異常なく、顔色は不明。 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	心拍数上限のプログラムの誤り? →プログラム上、F基準の上限値 設定の誤りの可能性あり。黄に該 当する処置あり、「黄」へ変更す る。

No	年齢	性別	C	D	E	F	院内 トリアージ	転帰	C症候	D症候	緊急度検証基準(F)での赤の判定理由			外来 診断	C理由	誤分類の 理由	修正案・メモ	
											要素 1	要素 2	要素 3					
4389	1	女性	緑	緑	緑	赤	非緊急		固形物誤飲	循環(小児)	脈拍	E_心拍数: 156=145~165			消化器	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、16_固形物誤飲/話すこと(泣く)はできますか?/「話すこと(泣くこと)ができる」で緑を選択	—	緊急度検証基準の小児のバイタルサイン(脈拍)の基準を検討してはどうか?
4401	5	女性	黄	赤	緑	赤	低緊急	帰宅	小児の嘔気・嘔吐	循環(小児)	脈拍	E_心拍数: 163>140			消化器	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	緊急度検証基準の小児のバイタルサイン(脈拍)の基準を検討してはどうか?
4446	90	女性	黄	白	緑	赤	低緊急	入院一般	嘔気・嘔吐	気嘔吐(成)	脈拍	E_心拍数: 41<50			急性胃腸炎	呼吸、循環、顔色、会話のデータなし。いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	緊急度判定基準の心拍数の下限は、意識や循環の状態と併せて評価することが可能か?
4992	64	男性	黄	赤	黄	赤	低緊急	入院ICU	嘔気・嘔吐	重症感	転帰	ICU			毒薬物中毒	呼吸、循環、顔色、会話のデータなし。12_嘔気嘔吐/患者はどこか痛がっていますか?/「背中~腰」で黄色	症候の誤選択の可能性	データの欠損が多く評価困難であるが、毒薬物のプロトコルがないためにアンダーtriageとなったのかもしれない。
5058	50	男性	黄	赤	緑	赤	低緊急	帰宅	めまい	循環(成人)	血圧	収縮期血圧: 206>200mmHg			神経系	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	緊急度検証基準の収縮期血圧の上限値は、単純に数字のみではなく、他の条件と組み合わせて使用してはどうか。
5768	1	女性	黄	赤	緑	赤	低緊急	帰宅	小児の発熱	意識(小児)	脈拍	E_心拍数: 200>165	体温	40.1>40	感染症	呼吸、循環、顔色、会話のデータなし。いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	体温の評価を検討できるか?
6281	19	男性	黄	赤	緑	赤	低緊急	帰宅	成人の発熱	発熱(成人)	脈拍	E_心拍数=140 <F150であり、赤の基準を満たさない			その他	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	心拍数上限のプログラムの誤り? →プログラム上、F基準の上限値設定の誤りの可能性あり。緊急度判定に関わる処置・診断名ないため、「緑」へ変更する。
6393	72	男性	黄	赤	緑	赤		帰宅	めまい	循環(成人)	血圧	収縮期血圧: 203>200mmHg			循環器系	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	緊急度検証基準の収縮期血圧の上限値は、単純に数字のみではなく、他の条件と組み合わせて使用してはどうか。
6394	85	男性	黄	赤	黄	赤	緊急	入院ICU	めまい	循環(成人)	脈拍	E_心拍数: 160>150	SpO2	90≤90	循環器系	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いていないため黄色	—	SpO2の低下は、呼吸、会話の評価で異常として捉えられていない。指令員の能力により改善する部分もあるだろうが、これは119番triageの限界かもしれない。

No	年齢	性別	C	D	E	F	院内 トリアージ	転帰	C症候	D症候	緊急度検証基準(F)での赤の判定理由			外来 診断	C理由	誤分類の 理由	修正案・メモ		
											要素 1	要素 2	要素 3						
6429	71	男性	黄	赤	緑	赤	準緊急	帰宅	嘔気・嘔吐	循環(成人)	脈拍	E_心拍数=120 <F150であ り、赤の基準 を満たさない			急性 胃腸 炎	呼吸、循環、顔色、会話のデータなし。いつ もと違う振る舞いがなく、血も吐いていない ため黄色	—	心拍数上限のプログラムの誤り？ →プログラム上、F基準の上限値 設定の誤りの可能性あり。黄に該 当する処置あり、「黄」へ変更す る。	
6641	95	男性	黄	赤	緑	赤		入院 ICU	成人の発 熱	重症感	転帰	ICU			感染 症	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	DEのバイタルサインには異常を認 めない。個票を当たらないと評価 できないか。「ICU」単独での赤評 価の適否について検討可能か？	
6837	88	男性	黄	赤	黄	赤		入院 ICU	嘔気・嘔吐	呼吸(成人)	SpO2	83≤90	転帰	ICU	診断名	急性 呼吸 不全	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 いつもと違う振る舞いがなく、血も吐いてい ないため黄色	—	呼吸、会話の評価で異常として捉 えられていない。指令員の能力に より改善する部分もあるだろうが、 これは119番トリアージの限界かも しれない。
6982	70	女性	黄	緑	緑	赤		帰宅	意識障害	識がない(中)	血压	収縮期血圧: 227>200mmHg			睡眠 薬	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 5_意識がない_7/「これまで心臓の異常を指 摘されたことがありますか?」「心疾患の既 往がない」で黄色	—	緊急度検証基準の収縮期血圧の 上限値は、単純に数字のみではな く、他の条件と組み合わせて使用 してはどうか。	
7033	90	女性	黄	白	黄	赤		入院 一般	腹痛	腹痛	診断名	消化管穿孔			消化 管穿 孔	呼吸、循環、顔色、会話の確認で問題なく、 大動脈瘤の指摘なく、気を失っておらず、臍 より上の痛みではなく、黄色。 ただし、50才以上であるのでプロトコルでは 本来、「赤R 50才以上で腹痛のある状態」 に分類される例である。 →上記理由より「赤R」へ変更	プログラ ムの誤記	プログラムを確認し修正する。	

メモ
 ・C判定とE判定、D判定とF判定の評価が、それぞれ比較的一致している。
 E判定と比べてアンダートリアージとなっているものが1例(No155 Cで緑Eで黄)ある。
 F基準と比較したアンダートリアージ症例をまとめたのが本表であるが、
 D判定をアンダートリアージしている症例の確認が必要か？
 ・119番で年齢聴取したものと、D,Eでの年齢の一致率を確認したい。